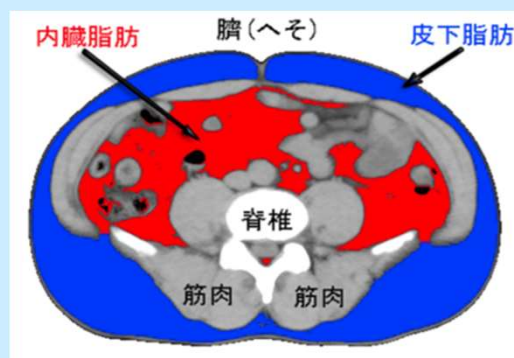


内臓脂肪CT検査

体脂肪は、皮膚の下につく皮下脂肪と内臓の周りにつく内臓脂肪とに分けられます。内臓脂肪CT検査では、内臓脂肪面積から内臓脂肪型肥満の有無を判定します。

内臓脂肪が多いと脂肪細胞から悪玉ホルモンが分泌され、動脈硬化が進行して心筋梗塞や脳卒中が起こりやすくなります。判定基準は、男女とも内臓脂肪面積が100cm²以上を超える場合、内臓脂肪型肥満と診断されます。



こんな方におすすめ！

- 健康診断で生活習慣病と指摘されたことがある方
- 血圧、血糖、コレステロール、中性脂肪、肝機能の数値が高い方
- 血栓（血管のつまり）による、脳や肺、心血管の疾患が心配な方
- 体型に変化のあった方
- これから体ケアを始めようと思っている方

検査方法

CTを用いてお腹（へその位置）の断面写真を取り、画像から内臓脂肪の面積を測定します。内臓脂肪と皮下脂肪を色分けした解析画像を見ることができ、その面積を正確に出すことができます。痛みを伴うような検査ではありません。X線被ばくも少なく安全な検査です。

検査時間

ドック（健診）と同時に行います。撮影時間は5分ほどで終了です。